

2024年度 事業報告

社会福祉法人 平成福社会

1. 2024年度 事業報告の概要

- 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は前年度比2%の増収
 - ショート以外の事業所で増収
 - ショートは定員数に合わせた運営をおこなったため
 - 定員の減数
 - 空床利用の減少
 - 稼働率
 - 面会開放も大きく好影響し、入所系は安定した稼働率を維持できた。
 - 通所系サービスは、2つのデイサービスともに80%を超える稼働率を維持できた。垂坂においては90%超えの稼働率を維持している。
 - 訪問系サービスは、職員の就業時間増もあり、年間約380件の支援が増加した。
 - 居宅介護支援事業所は、要支援のプランが増え、年間約190件のプラン件数が増加した。
 - 富洲原複合型サービスセンターは稼働率は低下したものの、重度の利用者を獲得することで収支がやや改善している。
 - 収支改善
 - 人員の適正配置
 - 稼働率の回復
- サービスの質
 - 利用者最優先主義の介護を実施する
 - 面会の開放で多くの入居者、その家族に喜んでもらっている。
 - 面会の開放にもかかわらず、感染拡大等がなく、感染予防がしっかり行えた。
 - 個々の技術面のみならずチームとして高品質な介護サービスの提供体制を推進する。
 - 介護技術研修への職員の多数参加

- QOLとADLの維持向上を目的とした余暇活動の企画、実施の継続
 - 行事を増やす
- 特養では面会の制限もなく、外出の再開などを行い、差し入れOKなども功を奏し入居者様の精神的安定を図ることができた。またカフェやカラオケ等をはじめ、入居者さんが楽しめるような催しを開始した。
- デイは自立支援に重点をおき、本人の残存能力を活かしたレクを実施
 - 麻雀大会
 - 作成レク
 - 食レクの実施
- 人材の確保、育成
 - 法人内の事業所間での異動・応援による人員の確保
 - 研修の実施
 - 新人職員に対する研修体制の強化
 - 役職者への研修
 - キャリアパス制度の整備など人事管理、制度の適正化
 - 介護プロフェッショナルキャリア段位制度のアセッサー資格を持つ職員の複数育成
 - 介護職員の育成への強化
 - 外国人職員の増員
- 法人、グループ内の連携
 - 相互に連携、協力体制をもち、ノウハウなどの利点を最大限に生かす
 - 勉強会、技術交流や情報共有の実施
 - WEB研修など
 - 多職種に分かれた研修参加で専門職のスキルアップ
- 地域貢献活動
 - 事業所、法人として地域に根差した福祉サービスの提供を継続
 - 生活バスへの協賛
 - 地域の子供会祭りへの協賛
 - 地域の消防訓練への職員の参加
- 感染症への対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策の徹底
- その他の補助金
 - 介護職員等の処遇改善支援補助金

2. 運営状況（稼働率、利用者数）

※（ ）の数値は対前年度の増減

高齢者事業

● 特養（稼働率）

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度 目標
ヴィラ四日市（入所）【100名】	91.9%	96.8%（+4.9%）	98.8%（+2.0%）
（ショート）【10名】	159.9%	104.9%（▲55%）	89.3%（▲15.6%）
（合計）【110名】	98.1%	97.5%（▲0.6%）	97.9%（+0.4%）

● 通所介護（稼働率）

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度 目標
ヴィラ四日市通所介護センター【43名】	90.9%	93.0%（+2.1%）	93.4%（+0.4%）
富洲原通所介護センター【30名】	80.1%	86.0%（+5.9%）	90.0%（+4.0%）

● 訪問介護（延べ人数）

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度 目標
ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター	2,997名	3,377名 （+380名）	3,290名 （▲87名）

● 小規模・看護小規模（登録率）

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度 目標
富洲原複合型サービスセンター【29名】（2023.8月より）	65.5%	58.6% （▲6.9%）	69.0% （+10.4%）

● 居宅（ケアプラン数）

事業所名	2023年度	2024年度	2025年度 目標
ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター	178名	194名（+16名）	209名（+15名）

2025年 6月 3日

2024年度 事業報告

社会福祉法人 平成福社会

対象事業所

高齢者事業

ヴィラ四日市（ユニット型-特養）【定員：入所-100名 ショート-10名】
ヴィラ四日市通所介護センター（通所介護）【定員：43名】
ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（訪問介護）
ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（居宅）

高齢者事業

ヴィラ四日市（ユニット型-特養）【定員：入所-100名 ショート-10名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 特養
 - 全体の収益は前年度比で6.3%増収
 - ショートの空床利用の減少
 - 稼働率の安定
 - 単価増加
 - 年間通して日常生活継続支援加算を算定
 - 前年度は半期のみ
 - 要介護度
 - 要介護度が年々低下の傾向
 - ショート
 - 全体の収益は前年度比で33.8%減収
 - 特養の空床利用の減少
 - 定員減少によるもの
 - 単価増加
 - 長期利用による減算者の減少
 - 入所待ちの日数の減少
 - 要介護度0.1増加
 - 稼働率
 - 特養
 - 稼働率は4.9%増加
 - 空床利用の減少
 - ショート
 - 稼働率は55%減少の104.9%
 - 定員数減少によるもの
 - 特養の空床利用人数の減少
 - 収支改善
 - 特養
 - ADL加算の算定
 - ショート
 - 介護度の上昇（2.6→2.7）
 - 重度者の受け入れ
 - 迅速な受け入れ
 - 緊急ショートの増加

○ サービスの質

- 感染防止対策に努め、集団発生もなく施設を利用して頂くことができた。
- 感染症以外の災害（地震・停電・火事など）にも目を向け、実地訓練を実施した。
- BCP研修の実施
- 利用者最優先で、個々の技術面のみならずチームとして高品質な介護サービスの提供体制の推進の継続
- 楽しみのある施設
 - カフェの開始（月2回）
 - カラオケ
 - 食レク（スイーツデー）
 - クリスマス会
 - 盆踊り
- 施設内研修の充実
- 排泄、入浴、食事介助支援の統一を図るための研修（WEB）を受講し各ユニットにフィードバックすることで支援の質の向上を図ることができた。

○ 感染対策

- 感染症対策マニュアルの見直しを実施
- 各々の感染症に対応したPPEや嘔吐物処理など実技研修の実施
- インフルエンザの感染予防に努めた。
- 食中毒に関する研修の実施

○ 人材の確保、育成

- 介護技術研修への多数参加（WEB及び集合研修）
 - 介護職の介護技術の底上げ
- 外国人就業者の増員
- 新入職職員の認知症介護基礎研修への参加

○ その他

- 認知症啓発イベント『RUN伴』（らんととも）への参加

● 主な指標

○ 入所+ショート

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2023年度	2024年度	2025年度 目標
稼働率	98.1%	97.5%（▲0.6%）	97.9%（+0.4%）

○ 入所

	2023年度	2024年度	2025年度 目標
稼働率	91.9%	96.8% (+4.9%)	98.8% (+2.0%)
平均要介護度	3.8	3.7 (▲0.1)	3.8 (+0.1)
単価 (人・日)	14,507円	15,013円 (+506円)	15,058円 (+45円)

○ ショート

	2023年度	2024年度	2025年度 目標
稼働率	159.9%	104.9% (▲55%)	89.3% (▲15.6%)
平均要介護度	2.6	2.7 (+0.1)	2.7 (±0)
単価 (人・日)	13,859円	14,290円 (+431円)	14,323円 (+33円)

ヴィラ四日市通所介護センター（通所介護）【定員：43名】

● 事業報告の概要

○ 業績等

■ 収益

- 全体の収益は前年度と比較し2.1%増収
- 稼働率の増加

■ 稼働率

- 稼働率2.1%アップで93.0%と高水準維持

○ サービスの質

■ 利用者の特技を生かしたレクリエーションの実施

- 麻雀大会
- ミシンでの鞆やポシェットの作成
- 刺繍

■ 季節行事の充実

■ 制作レクの充実

- さくらの盆栽・兜・カーネーション等など
- アクセサリー教室

■ 多彩な食レク

- 利用者さんの特技を生かす食レク
- 職員の特技を生かす食レク
- 月1回 デイオリジナルメニューへの変更
 - いなりずし
 - カレー
 - パスタなど
- 各関連事業所への適度な情報報告
- 家族への迅速な対応
- 個人の残存能力を生かすレクの開発
- 職員のコミュニケーション力の向上
- 利用者も職員も楽しむ

○ その他

- 職員1名補充済み
- 原則利用希望者を『断らない』
- 認知症啓発イベント『RUN伴』（らんとも）への参加
 - ゴール（門）の作成
- 車両事故が増加
 - 安全講習
- 特養とのコラボレーション
 - カフェ
 - 特養ホールで入居者およびショート利用者とのコミュニケーション
 - カラオケ
 - 特養ホールでのカラオケに参加（希望者）
 - 作成レク
 - 祭り・クリスマス会など

● 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2023年度	2024年度	2025年度 目標
稼働率	90.9%	93.0% (+2.1%)	93.4% (+0.4%)
平均要介護度	1.1	1.1 (±0)	1.2 (+0.1)
単価（人・日）	7,902円	7,888 (▲14円)	7,931円 (+43円)

ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（訪問介護）

- 事業報告の概要

- 業績等

- 収益

- 全体の収益は前年度比で15.6%増収

- 利用者の増加

- 支援回数の増加

- 利用者数

- 利用延べ人数の増加

- 延べ件数：前年比12.7%増加

- 収支改善

- 要支援をベースにサービス提供回数の増加

- 登録職員の時間増

- 支援拡大が可能に

- サービスの質

- 毎月の研修で身体介護の技術が向上

- 365日支援可能

- 受け入れプランが拡大

- 看取り支援の受入れにより、精神的ケアも実施

- 看取り 2024年度実績：6名

- 退院後の復帰を支援

- 骨折後の利用者への支援：2名

- スマホで登録職員全員での情報共有が即時可能に

- 人材の確保、育成

- ヘルパー2名の時間増

- WEB等を使用しヘルパー全員に介護技術向上のための研修を実施。

- 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2023年度	2024年度	2025年度 目標
延べ人数	2,997名	3,377名 (+380名)	3,290名 (▲87名)
平均要介護度	0.9	1.1 (+0.2)	1.1 (±0)
単価 (人・日)	3,705円	3,899円 (+194円)	3,966円 (+67円)

ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（居宅）

● 事業報告の概要

○ 業績等

■ 収益

- 全体の収益は前年度比で8.2%増収

■ 稼働率

- プラン件数：年間191件増
- 前年度のケアマネの増員

■ 収支改善

- プラン件数の増加
- 担当エリアの拡大
- 要支援の増加で単価が減額

○ サービスの質

- WEB等を使用した研修
- 包括支援センターおよび在介協議会主催の研修への参加。
- 主任ケアマネ研修への参加
- 困難ケースも受入れしやすく体制を整えた
- 近隣居宅との事例検討の実施

○ 人材の確保、育成。

- 引き続き退職者なく人員の確保が実施できた。
- 地域の居宅支援事業所と連携し研修会等実施。
- WEB等を使用した研修会に参加。

● 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2023年度	2024年度	2025年度 目標
ケアプラン数（月平均）	178名	194名（+16名）	209名（+15名）
平均要介護度	1.8	1.6（▲0.2）	1.6（±0）
単価（人・月）	14,387円	14,262円（▲125円）	14,384円（+122円）

2025年 6月 3日

2024年度 事業報告

社会福祉法人 平成福社会

対象事業所

高齢者事業

富洲原通所介護センター（通所介護）【定員：30名】

富洲原複合型サービスセンター（看護小規模）【登録定員：29名】

高齢者事業

富洲原通所介護センター（通所介護）【定員：30名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は前年度比で5.2%増収
 - 稼働率の増加
 - 要支援者の比率の増加
 - 稼働率
 - 稼働率は86.0%（前年度比5.9%増）
 - うち、障害デイサービス分2.9%含む
 - 障害デイの利用者数の減少
 - 障害者デイ 270件/年
 - 利用者年間 100名減
 - 利用実数 2名（3月から再び3名へ）
 - 収支改善
 - 職員の適正配置
 - 障害デイサービス利用者の継続
 - 要支援利用者の増加
 - 現在（2025年4月）要介護の比率が53.8%まで低下
 - 看護師の休職で機能訓練の加算算定が一時未算定
 - サービスの質
 - 食レクを実施
 - 富洲原での現地調理を実施
 - 適温での食事の提供
 - 美味しい食事の提供
 - 施設内研修を実施し、職員の研修等の充実を図った。
 - 環境面を整える
 - 施設老朽化による改修
 - 床の改修予定
 - 浴室改修予定
 - トイレ改修予定
 - 環境面の整備
 - 不用品の処分
 - 人材の確保、育成
 - 施設内研修の充実
 - 看護師の採用

主な指標

○ デイサービス

	2023年度	2024年度	2025年度 目標
稼働率	80.1%	86.0% (+5.9%)	90.0% (+4.0%)
平均要介護度	1.2	1.2 (±0)	1.2 (±0)
単価 (人・日)	8,118円	7,974円 (▲144円)	7,687円 (▲287円)

富洲原複合型サービスセンター（看護小規模）【登録定員：29名】

● 事業計画の概要

○ 事業報告の概要

■ 業績等

● 収益

- 全体の収益は前年度比で6.1%増収
- 月単価の増加
 - 重度利用者の増加による

● 登録率

- 平均登録数減少
- 稼働率の低下 58.6%
 - 稼働率の向上が必須

● 収支改善

- 職員の適正配置
- 要介護度の上昇
 - 特養入所待ちのための利用者を確保
- 既存プランの見直し
 - 通いに頼りすぎるプランを改善
- 居宅支援事業所に向けた見学会の実施

■ サービスの質

- 近隣クリニックとの連携体制の継続。
- センター及び在宅での看取り支援の実施
- 理学療法士の配置
 - 訪問リハビリも可能
 - センター内でのリハビリも充実
- 美味しい食事の提供
 - 個別に細やかな対応を実施

- 病態食にも対応可能
 - 嚥下食にも対応可能
 - 屋外行事の実施
 - 運動会など
 - センター内でのレクリエーションの充実
 - 個人の残存能力に合わせた制作レクの実施
- 人材の確保、育成
 - 研修会
 - 個々の希望に沿った研修会への参加
 - 施設内研修の実施
 - 介護職の技術向上
 - 訪問介護に関する知識の習得が必要
 - 身体介護に関する技術の習得
 - グループの実施する介護技術研修に参加する等
 - 看護職の不足
 - 職員の産休による他部署からの看護師の応援
 - 看護師の増員が必要
- 主な指標

※ () の数値は対前年度の増減

	2023年度	2024年度	2025年度 目標
登録率	65.5%	58.6% (▲6.9%)	69.0% (+10.4%)
平均要介護度	1.6	1.6 (±0)	1.9 (+0.3)
単価 (人・月)	228,789円	270,088円 (+41,299円)	275,877円 (+5,789円)